

横浜市立大学
SPRING事業主催
令和8年度第1回
企業交流会

—研究職以外での働き方—

8月31日 月 18:00～19:30

オンライン
(オンデマンド配信なし)

参加費
無料

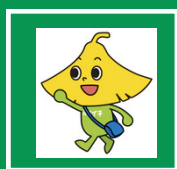
博士後期課程修了後、研究職以外での働き方について、
研究をサポートする立場で働いている方をお迎えし、
業務について詳しくご説明いただきます。

内 容

- ・株式会社リバネス 業務のご紹介
 - ・信州大学（URA） 業務のご紹介
- ※業務紹介後、直接質問が可能な時間を設けます。



上記のQRコードからお申し込みください。



▼データ思考イノベティブ人材育成プログラム（SPRING）事業 事務局

☎ 045-787-8946

e-mail : fellowship@yokohama-cu.ac.jp



研究者が活躍できる働き方についてご紹介



株式会社リバネス Leave a Nest Co., Ltd.

設立 : 2002年6月14日

所在地：東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町1-4 飯田橋御幸ビル
大阪本社 〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30 オークプリオタワー403

資本金：70,000千円 従業員数：53名（2023年2月1日現在）

事業内容：科学技術分野における教育、人材育成、研究、創業に関する企画・研究・コンサルティング業務など。

理念：科学技術の発展と地球貢献を実現する」を理念に、次世代に対する科学教育、アントレプレナーシップを持つ人材の育成、異分野連携による研究の活性化、大学の研究成果の社会実装、ベンチャーとの連携による中小・中堅企業の活性化、大企業の新規事業創出など、科学技術に関わる新しいプロジェクトを仕掛けています。

URAの業務についてご紹介



国立大学法人信州大学 リサーチアドミニストレーション室（URA室）

組織：学術研究院(3学域、10学系)、8学部、大学院研究科（5研究科）、

職員数：2,695人（教員1,133、事務職員等1,562） 学生数：学部学生 8,805人、大学院 2,044人

登壇者所属：信州大学学術研究・産学官連携推進機構 准教授（URA）

アグリ・トランスフォーメーション（農X）推進室 室長

兼：信州大学アドミニストレーション本部 プロデュース部門

ユニバーシティ・アドミニストレーター（プロデュース担当）南信州実証タウン担当

登壇者略歴：長野県伊那市出身。信州大学農学部に進学し、2014年より日本学術振興会特別研究員DC2に採用。信州大学および国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構にてニワトリの生殖細胞に関する研究に従事し、2016年3月に博士（農学）を取得。同年8月より、大学の研究力強化や研究成果の社会実装を実現する研究開発マネジメント人材である「ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター（URA）」として信州大学に着任。繊維学部の部局担当URAを経て、2023年2月より本部担当URAとして着任。現在は、水循環・グリーン水素技術を核に、大学全体の研究力強化・県内自治体等と協働した課題発掘・ソリューション創出・研究拠点形成・社会実装までを担う事業プロデューサーとして活動している。2026年4月、科学技術分野の文部科学大臣表彰研究支援賞（研究マネジメント部門）受賞。